



『稲沢市enテール』 インテーク・アセスメントシート

(Ver. 5)

ケース番号 【 年度 - 受付月 - 該当する項目に☑ 窓口が記入

●支援機関・部署(必須)

支援機関名(部署名)	〇〇地域包括支援センター	依頼日	西暦 年 月 日
情報共有の同意	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	担当者名	
支援機関等の主訴 (困りごと・支援依頼の内容)	・同居の息子の支援をお願いしたい 無職の息子(50代)がおり、父親の年金で生活をしている状態 父親は、施設入所を検討しており、息子の今後について心配している ・庭の手入れができておらず、自宅前の通学路や隣の家にも草木が飛び出て非常に危険 年金でぎりぎりの生活を営んでいるため、業者委託も困難(息子も困難=ひきこもり状態)		
支援機関の対応状況	・父親の支援については、他機関と連携し支援中 〇〇居宅介護支援事業所 〇〇地域包括支援センター ・息子については、部屋の奥に閉じこもっている様子 どの機関も関わっていない(社会から孤立している状態 父親と話すの)		

簡潔に記入!

本人との初回相談日

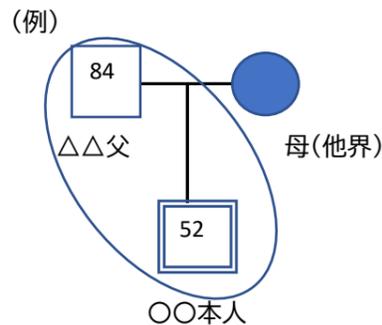
●支援対象者・相談者(世帯)の状況(必須)

受付機関		受付日	西暦 年 月 日
ふりがな		担当者名	
氏名		生年月日	西暦 年 月 日
		電話	
住所	〒 愛知県稲沢市	住居の状況	持ち家・賃貸・()

当てはまる項目に○

() 人世帯		性別	年齢	職業 学校	医療保険・失業保険・介護認定・障害認定・ 健康状態・就学援助・各種手当受給状況・最終学歴 等
名前	続柄				
〇〇 〇〇	本人				
〇〇 △△	父				

家族関係図(シエグラム)



家族構成について、分かる範囲で記載

息子に対する支援をお願いしたい(包括)
 20代の頃に離職して以来、ずっと引きこもっている状態
 自室の壁に本人が破壊したと思われる大きな穴が開いている
 時々『独り言』を壁に向かって話しかけている
 父親は息子が怖いので話しかけることを避けている

特記事項

二世帯
 本人(息子) 52歳 無職 通院歴なし 部屋にこもっている
 時々、父に暴言を吐く 過去に自殺未遂あり
 ひどく、やせ細っている
 父 84歳 要介護2 デイケア週3 認知症の疑い
 施設入所を検討している

●支援対象者・相談者(世帯)の家計状況(任意)

項目	金額(円)		備考	項目	金額(円)		備考(滞納状況等)
	収入	支出			収入	支出	
父の年金	90,000		高齢厚生+高齢基礎	家賃	0		・収支及び資産(負債)の全容把握が望ましいが、初回から全て聞き取ること は困難(拒む場合は無理しない) ・信頼関係を築きながら、徐々に全容を 明らかにする ・傾向として『負債』は、後出しが多い
収入項目 ・給与・年金・児扶・児手・扶助料				電気			
合計	90,000			ガス			
負債の状況				水道			
借入先	返済月額(円)	残額(円)		食費			
〇〇ファイナンス	10,000	800,000		日用品費			
〇〇金融	15,000	200,000		電話			
固定資産税・国保税	0	500,000		インターネット			
合計	15,000	1,500,000		保険料			
資産等の現状				学費	0		
預貯金			円	毎月の返済	15,000		
固定資産	持ち家・車・その他()			合計	90,000		
所持金							
保険等	生命保険・損害保険・その他()						

当てはまる項目に○

プルダウンで選択

A: 緊急 B: 新規
C: 支援中 D: 保

◎以下、福祉総合相談窓口 記入欄

対応結果	同意に向けて取り組む	支援の対応区分	() 対応
アセスメント・課題 等	・父親に認知症の疑いがあるため、在宅での生活(息子の世話含む)は困難 父親が入所すると息子が残されるので施設入所をためらっている ・庭の草木が生い茂っている。 父親の金銭的にも、体力的にも、草刈りや枝の剪定は困難。息子は庭に無関心 ・息子の言動から障がいの疑いがあるが、支援に繋がっていない		
対応(支援実施)状況 (令和 年 ●月時点)	●月○日 地区包括、基幹包括、相談窓口にて個別会議開催し情報を共有する ●月△日 ケアマネと相談窓口にて訪問実施 父親から話を伺う 本人に会えず ●月△日 稲沢市福祉総合相談対策支援チーム会議でケース検討を行う ●月△日 愛知県精神保健福祉センター(ひきこもり支援)を招いてケース検討を行う ●月△日 自宅訪問		
支援方針	長期目標	・父親:施設入所 本人:本人の意思で目標を立てて達成に向けて取り組む 1年後の目標	
	短期目標 次回エグゼクティブ 年月	・父親の支援機関と連携をし、父親への訪問を実施し、息子と接触する機会を図る ・息子と会うことができた際は、信頼関係を築き支援に繋げていく 1ヵ月~3ヵ月先の ※息子に対する支援方針は、本人と関わることができてから再検討する (就労、金銭面、障がいの有無、生保へのつながり等)	
支援機関	支援内容		
〇〇地域包括支援センター	・父親の支援(施設入所に向けた支援) 支援方針及び役割分担は、家族の変化に合わせて見直します。		
基幹型地域包括支援センター	・父親の支援(〇〇地域包括支援センターの後方支援)		
生活支援コーディネーター(社協)	・地域と連携し見守りネットワークの構築、隣近所の支え合いの仕組み構築(支え合いによる庭の剪定)		
福祉総合相談窓口	・自宅訪問を繰り返し、父親との関係を築きつつ、息子との接点を増やす、家計改善支援、就労支援		
保健所・基幹相談支援センター	・福祉総合相談窓口の後方支援		
社会資源開発	※現時点で社会資源がなく、必要だと考えられる支援		

・ひきこもり家族会 ・ピアサポーター ・有償ボランティア(近所の助け合い)⇒今後、一人暮らし高齢者が増えることも想定